

(別添2-4)

講師履歴書

フリガナ 氏名			上半身、正面、 無帽状態で 6ヶ月以内に 撮影された写真を 貼付すること。
生年月日	年 月 日		
自宅住所			
現在の勤務先 と業務内容	勤務先名		
	住所		
	業務内容	(年 月～現在)	
専任・兼任 の別	専任 ・ 兼任		
担当科目に 関連する 資格と免許	資格・免許の名称		取得年月日
			年 月 日
	1		
	2		
担当科目に 関連する職歴 ※教員の場合 は、学校名と 担当教科名	勤務先名称	職種	就業期間
			年 月～ 年 月 (年 カ月)
			年 月～ 年 月 (年 カ月)
			年 月～ 年 月 (年 カ月)
			年 月～ 年 月 (年 カ月)
			年 月～ 年 月 (年 カ月)
<p>1 大阪府介護職員初任者研修事業実施要領を熟読のうえ、担当科目の講師要件を理解している。</p> <p>2 この履歴書に記載の氏名、資格（取得年月日）、略歴について、研修事業者のホームページで情報開示することに同意している。</p> <p>以上承諾のうえ、記載内容に相違ないことを証明します。</p> <p>年 月 日 (講師氏名欄) _____ ※3</p>			

- ※1 欄が不足する場合は適宜用紙を追加すること。
- ※2 資格証明証等の写しを添付すること。
- ※3 機器による印字または自署とすること。

講師履歴書 この研修で担当する科目・項目名およびその番号

講師氏名

(1) 職務の理解(6時間)	要件(該当するものの記号を記入してください。)
①多様なサービスと理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援(9時間)	
①人権と尊厳を支える介護	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 社会福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 D 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
②自立に向けた介護	
③人権啓発に係る基礎知識(2時間)	A 学識経験者、弁護士 B 人権啓発を行う団体職員 C 人権啓発を行う行政主管課職員 D 大阪府人権擁護士 E 法務大臣が委嘱した人権擁護委員
(3) 介護の基本(6時間)	
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者
②介護職の職業倫理	C 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
④介護職の安全	
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携(9時間)	
①介護保険制度	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 社会福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 D 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
②医療との連携とリハビリテーション	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 社会福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 D 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員 F 理学療法士または作業療法士の資格を有し、5年以上のリハビリテーション業務の経験を有する者
③障がい者総合支援制度およびその他制度	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 社会福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 D 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(5) 介護におけるコミュニケーション技術(6時間)	
①介護におけるコミュニケーション	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者
②介護におけるチームのコミュニケーション	B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(6) 老化の理解(6時間)	
①老化に伴うところからの変化と日常	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 医師
②高齢者と健康	C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の看護業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(7) 認知症の理解(6時間)	

①認知症を取り巻く状況	
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 医師
③認知症に伴うところからの変化と日常生活	C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の看護業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
④家族への支援	
(8) 障がいの理解(3時間)	
①障がいの基礎的理解	A 介護福祉士の資格を有し、3年以上の障がい福祉サービスでの介護業務の経験を有する者
②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	B 精神保健福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 医師
③家族の心理、かかわり支援の理解	D 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(9) ところからのしくみと生活支援技術(75時間)	
ア 基本知識の学習(10～13時間)	
①介護の基本的な考え方	
②介護に関するところからのしくみの基礎的理解	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者
③介護に関するところからのしくみの基礎的理解	C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
イ 生活支援技術の講義・演習(50～55時間)	
④生活と家事	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑤快適な居住環境整備と介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 福祉用具専門相談員の資格を取得した後、5年以上の福祉用具の販売・貸与業務の経験を有する者 C 福祉住環境コーディネーターの資格を取得した後、5年以上の住宅改修業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑥整容に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 作業療法士の資格を取得した後、3年以上の直接助業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑦移動・移乗に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑧食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 栄養士又は管理栄養士の資格を取得した後、5年以上の栄養管理業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑨入浴、清潔保持に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑩排泄に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑪睡眠に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑫死にゆく人に関連したところからのしくみと終末期介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利

	用計画作成業務の経験を有する者 D 臨床心理士の資格を取得した後、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
ウ 生活支援技術演習(10～12時間)	
⑬介護過程の基礎的理解	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者
⑭総合生活支援技術演習	C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(10) 振り返り(4時間)	
①振り返り	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
②就業への備えと研修修了後における事例	
修了評価(1時間) <全科目修了時に筆記試験により実施>	
修了評価担当講師の要件	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該研修課程の科目を教授できる介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員

講師履歴書

フリガナ 氏名	オオサカ タロウ		上半身、正面、 無帽状態で 6ヶ月以内に 撮影された写真を 貼付すること。
	大阪 太郎		
	生年月日	昭和00年00月00日	
自宅住所	堺市堺区・・・		
現在の勤務先 と業務内容	勤務先名	学校法人〇〇会 〇〇大学	
	住所	大阪府中央区・・・	
	業務内容	社会福祉学部 教員 (平成28年4月～現在)	
専任・兼任の 別	専任 ・ 兼任		
担当科目に 関連する 資格と免許	資格	<p>当該事業所で、もっぱら研修講師として従事している場合は、「専任」として ください。「専任」の基準は、当該講師の全就業時間の5割以上であるか否かで 判断してください。 したがって、「専任」であっても、他の業務(例：事務職員)や他社で仕事に 従事する場合もあり、「兼務」は可能です。</p>	
	1 介護福祉士		
	2 介護支援専門員		
担当科目に 関連する職歴 ※教員の場合 は、学校名と 担当教科名	3	<p>当該研修の講師要件に関連しな い資格・免許の記載は不要です。</p>	
	社会福祉法人〇〇会 特別養護老人ホーム〇〇	職種	就業期間
		介護職員	平成20年4月～平成25年3月 (5年0ヵ月)
			年 月～ 年 月 (年 ヵ月)
			年 月～ 年 月 (年 ヵ月)
			年 月～ 年 月 (年 ヵ月)
<p>1 大阪府介護職員初任者研修事業実施要領を熟読のうえ、担当科目の講師要件を理解している。</p> <p>2 この履歴書に記載の氏名、資格(取得年月日)、略歴について、研修事業者のホームページで情報 開示することに同意している。</p> <p>以上承諾のうえ、記載内容に相違ないことを証明します。</p> <p>令和〇年〇月〇〇日 (講師署名欄) <u>大阪 太郎</u> ※3</p>			

- ※1 欄が不足する場合は適宜用紙を追加すること。
- ※2 資格証明証等の写しを添付すること。
- ※3 機器による印字または自署とすること。

講師履歴書 この研修で担当する科目・項目名およびその番号

講師氏名

(1) 職務の理解(6時間)	要件(該当するものの記号を記入してください。)
①多様なサービスと理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援(9時間)	
①人権と尊厳を支える介護	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 社会福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 D 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
②自立に向けた介護	
③人権啓発に係る基礎知識(2時間)	A 学識経験者、弁護士 B 人権啓発を行う団体職員 C 人権啓発を行う行政主管課職員 D 大阪府人権擁護士 E 法務大臣が委嘱した人権擁護委員
(3) 介護の基本(6時間)	
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
②介護職の職業倫理	
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	
④介護職の安全	
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携(9時間)	
①介護保険制度	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 社会福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 D 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
②医療との連携とリハビリテーション	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 社会福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 D 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員 F 理学療法士または作業療法士の資格を有し、5年以上のリハビリテーション業務の経験を有する者
③障がい者総合支援制度およびその他制度	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 社会福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 D 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利用計画作成業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(5) 介護におけるコミュニケーション技術(6時間)	
①介護におけるコミュニケーション	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
②介護におけるチームのコミュニケーション	
(6) 老化の理解(6時間)	
①老化に伴うところからの変化と日常	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 医師 C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の看護業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
②高齢者と健康	
(7) 認知症の理解(6時間)	

①認知症を取り巻く状況	
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 医師
③認知症に伴うところからの変化と日常生活	C 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の看護業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
④家族への支援	
(8) 障がいの理解(3時間)	
①障がいの基礎的理解	A 介護福祉士の資格を有し、3年以上の障がい福祉サービスでの介護業務の経験を有する者
②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	B 精神保健福祉士の資格を有し、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 C 医師 D 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
③家族の心理、かかわり支援の理解	
(9) ところからのしくみと生活支援技術(75時間)	
ア 基本知識の学習(10~13時間)	
①介護の基本的な考え方	
②介護に関するところからのしくみの基礎的理解	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
③介護に関するところからのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習(50~55時間)	
④生活と家事	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑤快適な居住環境整備と介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 福祉用具専門相談員の資格を取得した後、5年以上の福祉用具の販売・貸与業務の経験を有する者 C 福祉住環境コーディネーターの資格を取得した後、5年以上の住宅改修業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑥整容に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 作業療法士の資格を取得した後、3年以上の直接介助業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑦移動・移乗に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑧食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 栄養士又は管理栄養士の資格を取得した後、5年以上の栄養管理業務の経験を有する者 D 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑨入浴、清潔保持に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑩排泄に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑪睡眠に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
⑫死にゆく人に関連したところからのしくみと終末期介護	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 介護支援専門員又は相談支援専門員の資格を取得した後、3年以上のサービス利

担当を予定する項目の欄に該当する講師要件の記号を記してください。

	用計画作成業務の経験を有する者 D 臨床心理士の資格を取得した後、5年以上の相談援助業務の経験を有する者 E 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
ウ 生活支援技術演習 (10～12 時間)	
⑬介護過程の基礎的理解	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者
⑭総合生活支援技術演習	C 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
(10) 振り返り (4 時間)	
①振り返り	
②就業への備えと研修修了後における事例	A 介護福祉士の資格を有し、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 当該科目を現に教授している介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員
修了評価 (1 時間) <全科目修了時に筆記試験により実施>	
修了評価担当講師の要件	A 介護福祉士の資格を取得した後、5年以上の介護業務の経験を有する者 B 看護師又は准看護師の資格を取得した後、5年以上の在宅・施設福祉サービスでの看護業務の経験を有する者 C 当該研修課程の科目を教授できる介護福祉士養成施設又は福祉系高等学校の教員